



表紙写真説明：如意輪観音半跏思惟像

福井県唯一の奈良時代の佛像として知られる。小浜市太良庄、正林庵の如意輪観音半跏思惟像は、永年に亘り秘佛として大切に守り継がれてきた。童顔童身と言われる奈良時代前期の特徴を備えた美佛は、その愛らしさの故か四度も盗難に遭ったが、その都度、奇跡的に取り戻されたとの言い伝えがある。村人達は、今も月々観音講を営んで奉仕し、変わらぬ信仰と敬愛を捧げているとの事である。今回は、檀家総代と白崎昭一郎先生の御友人のO氏の御厚意により、撮影が許可された。

福井市 吉村 信

## 大型ハリケーンカトリーナと治験

生涯教育担当理事 阿 部 真 也



過日大きく報道された大型ハリケーンカトリーナによるアメリカ、ニューオリンズの被害状況は記憶に新しいものです。莫大な数の人が亡くなり、徐々に復興しつつあるとはいえ莫大な被災者が依然として残されています。被災の当日、テレビの画面に映し出されたのは水没した広大な街、そして避難所にいる多くの黒人の人々でした。他国で戦争や大災害や諸問題が勃発すれば、現世界のナンバーワンの大国と自他共に認めるアメリカ政府は直ちに救助の手を差し伸べていたのに、今回自国の黒人の被災者に対しては、イラクに派兵しているせいとかどうかはわかりませんが、国内の黒人の人々から非難と怒りの声が上がってからやっと重い腰を上げ、救助隊を派遣しました。被災地のアングロサクソン系で代表される白人の人々の大部分はさっさと自力で逃げ出していて、残されたのは弱者ばかりのように見受けられました。正にアメリカの光と影の対比をこの時ばかりは如実に実感しました。

今、日本の政府で構造改革の一環として、医療費の削減に伴い、医療の改革もなされようとしていますが、その中の一つとして医薬品の治験の問題があります。医療の進歩の為、より良質で効果の高い薬の開発の為、医師による治験制度が日本でも立ち上げられました。この場合常に手本とされるのがアメリカの治験です。アメリカでは膨大な数の治験データが集積され、より良い新薬の開発につながっていると、天の方からの声が聞こえてきますが、果たしてそれは如何なるものなのでしょうか。ニューオリンズの例のように、貧困の為、医療保険からはじきだされた黒人に代表される底辺層の人々が、藁をもすがる思いで治験に参加することによって高度な医療の恩恵を受けるという結果に他ならないのではないのでしょうか。日本はある意味では誠に平等です。例外もあるかもしれませんが、ほとんどの人が健康保険制度によって、安価である程度の質の良い医療を日本全国どこで

でも受けることができます。海外で生活した経験のある人はほとんど日本の医療費の安さを言います。この国のこの状況でアメリカ並みの治験データが集まるのか否か疑問を感じざるを得ません。強者と弱者の差別の明白なアメリカの制度を日本に当てはめてみても、果たしてどんな結果になるのか、疑問です。政府もこの辺りでアメリカ一辺倒の態度を改めて、日本独自の方向性を見極めて、本当の医療改革に取り組んで欲しいものです。

日本は戦後アメリカ占領下から60年経ち、転換期を迎えています。高度成長期のあと、バブル期、戦後の新制度の疲弊、官僚台頭、少子化問題、税金の無駄遣い、毎朝、新聞をみれば問題が山積みです。佐渡へ佐渡へと草木がなびくようにアメリカ、アメリカへとたびたび来しました。確かにアメリカは素晴らしい国ですし、偉大な国でもあります。見習う点も多いかもしれませんが、貧富の差、人類の差別、弱者と強者の差の厳しさとそれに由来する歪みも今回のハリケーンカトリーナで露呈されたようです。ごまめの歯軋りと擲擧する声が何処からか聞こえてきそうですが、…日本は戦後本当に豊かになったのか、進行方向は正しかったのか、医療の面からも我々も再認識して、患者の病を治すという医師としての原点に立ち返ってみるべき時期にきていると、日本を愛し、医療を愛して、医療に携わる一人として思うこの頃です。

### 追記

先日、厚生労働省より、医療費の大幅削減の試案が提示されました。薬に関して端的に言えばジェネリック品目の推奨です。反面、M&Aによる外資系製薬会社と日本の製薬会社の統合が進んだ結果、アメリカ等で先に述べた形で治験が済んだ医薬品が今度は日本での治験を通過して、高価格で販売されようとしています。一介の医師としては不安を感じ得ません。